

## 地震ハザードマップ よくある質問

- (1) 佐賀平野北縁断層帯 (M7.5、最大震度7) を震源とした地震を想定されていますが、これが南海トラフ地震の場合は、佐賀はどんな影響を受けるのでしょうか？

(回答) 南海トラフ地震における佐賀への影響ですが、内閣府が作成している「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画の概要」では、佐賀県は、巨大地震でも被害が想定されない地域と区分けをされております。

そのため、南海トラフ地震による佐賀市への影響はないものと考えていますが、万が一の場合もありますので、日頃から地震に対する心構えをしていただくために、地震ハザードマップを活用いただければ幸いです。

参考：南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画の概要

- (2) 地震ハザードマップの建物全壊率のデータには、液状化危険度に基づく建物損壊の影響は考慮されているのでしょうか。

(回答) 地域の危険度 (建物全壊率) マップについて、液状化危険度に基づく建物損壊の影響は考慮しておりません。

地域の危険度 (建物全壊率) マップは、「揺れやすさマップ」で示した揺れによって、建物に被害が生じる割合を「危険度」として表したものです。具体的には、地震による揺れが「揺れやすさマップ」で示した強さ (震度) となった場合に、それぞれの地域にある建物の特性 (建物の構造と建築年次) を考慮して、全壊する割合を表しています。

地域の危険度 (建物全壊率) マップを作成した意図としては、建物の耐震化を促進するためです。

地域の危険度 (建物全壊率) マップの右隣に「建物の全壊率を表すグラフ」を付けております。市民の方には、こちらも確認頂き、建物の耐震化の促進に繋がることを願っています。